

# 平成26年度 施策評価シート

作成日 平成 26 年 11 月 26 日

## 1 施策の概要

施策名 (節の名称)	No. 24 健康づくりの推進				
部章節No.	第3部 第2章 第1節	評価担当部	民生部	関連部局	-
総合計画書掲載頁	108 頁	記載責任者	平本明敏		
総合計画 体系	まちづくりの目標【部】	健康でゆとりとふれあいのまちづくり			
	施策の分類【章】	いきいきと暮らす生涯健康づくりの推進			
施策の目的 (基本方針)	日常生活における心と体の健康の維持を基本として、保健・医療・福祉の連携をはかりながら、生涯にわたる健康づくりを支援します。				

## 2 施策を取り巻く環境

施策の現状	平均寿命が延伸する中で、食習慣やストレスなど生活習慣に起因する、がん、脳血管障害、糖尿病、心臓病などの疾病者が増えている。その一方で、住民の健康への感心も高まってきていることから、健康プラザを拠点とし、健康づくり推進員などによる健康づくりの普及・啓発をさらに地域に展開する必要があります。 母子保健では、少子化の進展と共に、核家族化や近隣関係の希薄化などにより、母親の育児不安や負担感が増大しています。このため、妊娠中・出産後の母親の育児不安の軽減や乳幼児期におけるこどもの健全な成長のために、健康診査や予防接種など適切に実施するとともに、出産や育児に関する相談の充実を図る必要があります。
法令・制度 の変更	子ども子育て支援法に位置づけられた妊婦健康診査・乳児全戸訪問事業など関連事業の実施 介護保険制度に基づく、予防事業に関連した成人保健事業の実施
施策の課題	健康づくりには、日ごろからの健康管理が大切であり、病気の早期発見・早期治療のため、各種健康診査（がん検診・特定健康診査・後期高齢者健康診査）の受診率の向上に向けた取り組みが課題となっています。また、検診受診者の高齢化に対応する安全な検診システムの取り組みが求められています。 また、KDB（国保データベース）システムを活用した、健康の維持増進、医療費の削減などに努める必要がある。

## 3 施策の成果指標

(基本方針を達成するため本施策に求められる成果を定量的に表記します。)

住民満足度	指標 (単位)	総合計画 策定時	中間値 (26年度)	目標値 28年度	達成度
	『健康づくりの推進』について「満足」と感じる住民の割合	45.6 %	44.2 %	56.0 %	B

  

主な 目標指標	指標 (単位)	増減	総合計画 策定時	23年度	24年度	25年度	目標値 28年度	達成度
	がん検診受診率 (%)	増	24.9	25.4	24.1	25.8	50.0	C
	妊婦健康診査受診率 (%)	増	84.8	80.4	89.9	96.6	95.0	A
	乳幼児健康診査受診率(4か月児健診受診率)	増	94.2	93.8	92.6	98.1	98.0	A

## 4 施策の活動指標

(「3 施策の成果指標」の目的を達成するため本施策において町が行う活動内容等を定量的に表記します。)

主な 活動指標	指標 (単位)	増減	総合計画 策定時	23年度	24年度	25年度	目標値 28年度	達成度
	町民健康講座参加者数 (人)	増	167	294	213	300	250	A
	妊婦訪問件数(件)	増	10	9	18	19	22	A
	乳幼児健診勧奨数 (4か月児健診)	増	293	306	269	261	250	A

### 5 総合計画の進捗状況調査に基づく基本施策の評価

基本施策		評価結果	基本施策		評価結果
No.	名称		No.	名称	
1	疾病予防対策の推進	B	4	保健サービス実施体制の整備	B
2	母と子の健康づくりの推進	B			
3	高齢期の健康づくりの推進	B			

### 6 総合評価

成果指標評価	B	活動指標評価	A	進捗状況調査結果	B
--------	---	--------	---	----------	---

総合評価	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> <b>B</b>  <small>(自動判定)</small> </div> <span style="font-size: 2em; color: blue; margin: 0 10px;">➔</span> <b>構成事務事業の見直しが必要な施策です。</b>
	<small>総合評価結果に対する分析（施策全体について、進捗状況、有効性・効率性の観点を踏まえて分析してください。）</small>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住民ニーズの多様化、個別化、高度化および情報の多様性により、これまで同様な健康サービスの提供には課題がある。特に地域基盤の希薄化が見受けられ、健康づくりの担い手である「健康づくり推進委員」の養成や育成がしにくい環境が見受けられる。</li> <li>・母子保健においては、家庭環境により子育てに関する意識の差が大きい状況となってきた。しかし、がん検診の受診・妊婦健康診査・乳幼児健診等については、健康が大切であるとの意識啓発が根付いていることや、個別通知による勧奨などが効果を奏している。</li> <li>・がん検診、乳幼児健診等から精密検査者の発見が見受けられ早期発見・早期治療へとつながっており、事業は有効性が高いが、受診率の向上が課題となっている。</li> </ul>

### 7 今後の方向性

方向性	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 一部見直し <input type="checkbox"/> 大幅な見直し <input checked="" type="checkbox"/> 新たな取り組みや事業を追加 <input type="checkbox"/> その他
改善案などの内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町民の健康度を上げるため、健康づくり推進委員会を中心に、自分の健康は、自分で守り、さらに家族の健康も家族で守ることの重要性を町内全体に浸透させる必要がある。特に、乳幼児健診やがん検診、特定健診と各年代でのそれぞれの健診の受診を促し、病気の早期発見、早期治療に結びつける必要がある。</li> <li>・がん検診については、検診日の増加に加え、胃がん検診では、ABCリスク検診を新たに導入するなど受診環境を充実し、受診率の向上に努める。</li> <li>・国保の被保険者については、KDB（国保データベース）システムを活用し、糖尿病などの生活習慣病対策に力を入れ、毎日の生活に運動を取り入れるよう啓発に取り組む。</li> </ul>

### 8 庁内行政評価委員会コメント

※主管部等では記入しないでください。

評価・方向性	所管部の方向性のとおり
--------	-------------

